

# KP会議ニュース

※KP会議とは、工物品質向上を目的に実施している社内支援会議です。KP:「工物品質向上プロジェクト」の略

令和6年1月31日

牟田建設株式会社

1月31日(水)、「中池江川大規模特定河川工事(樋管本体工)」の現場において「**若手・女性技術者現場研修会**」を実施しました。

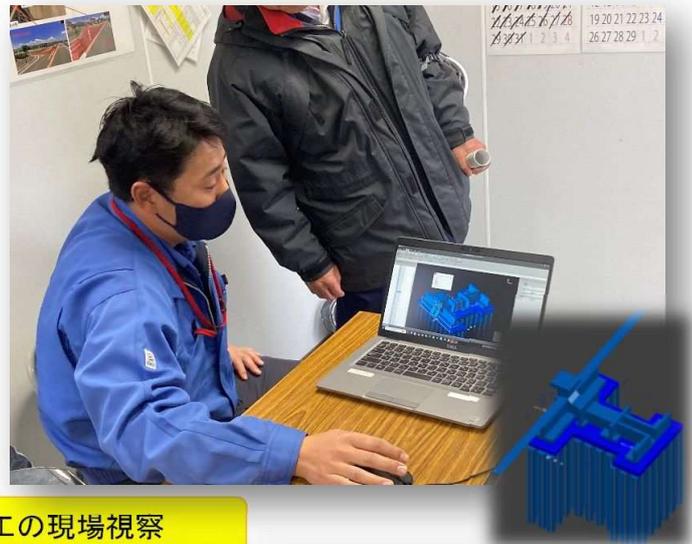
今回の研修会では、最近では施工事例が少なくなってきた樋管工事を見学し、樋管本体工の構造の勉強や寒中コンクリート打設時の留意点、3次元鳥観図設計についての研修を行いました。

## 若手技術者の古賀監理技術者から、工事概要説明



3次元の鳥観図に興味深々で聞く若手・女性技術者達

## 3次元鳥観図説明



## 現場で樋管本体工の現場視察



今回の研修では、

- ①樋管本体工の構造では、樋管の種類、役割、部材名称や佐賀の軟弱地盤に対応した柔構造について勉強しました。
- ②コンクリート打設では、寒中コンクリートの施工で給熱養生で施工したことや温度管理を適切に行うなどの話がありました。
- ③3次元の鳥観図を作成し、型枠業者さんなどに説明して施工管理を行ったとの紹介がありました。

本日の研修では、若手技術者(古賀監理技術者)自ら現場説明を行っていただきました。

古賀さんは、樋管構造物の経験は初めてでしたが、構造を下請け業者さんでもわかり易いようにと考え今回3次元の鳥観図の作成(自分で作成したそうです。)にチャレンジしました。その結果、作業員の方々から「わかり易い」と高評価を得られたそうです。

国交省では今年度から「BIM/CIM原則適用」の取り組みが始まっています。今後、人手不足や働き方改革などを背景にBIM/CIM技術活用が加速していくと考えられます。今回は樋管外観だけでしたがBIM/CIM技術を活用し配筋チェックなどにも今後チャレンジして欲しいと感じました。